

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2024年6月10日

長野県知事 様

住 所 東京都八王子市明神町4-7-15落合ビル4F-C
氏 名 株式会社ボンズ 代表取締役 渡辺 琢磨
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所	塩尻市大字旧塩尻字東山1456番	
事業区域の位置及び面積	3,609.64㎡(実測)(位置図、事業区域図の通り)	
太陽光発電施設の合計出力	240kW (太陽電池の合計出力336.98kW)	
太陽光 発電事 業の内 内容及び 実施予 定期間	発電電力の用途 <input checked="" type="checkbox"/> 売電 <input type="checkbox"/> 自家消費 設備ID (AM14233C20)	
	設置工事着手予定日	令和6年7月15日
	設置工事完了予定日	令和6年9月30日
	運転開始予定日	令和7年3月31日
	施設撤去予定日	令和27年3月31日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による強度計算を行い、架台については、造成後、引き抜き試験を行い2トン以上の耐荷になるようにし、風雪に耐えられる強固なものにする。	
景観保全のための措置の検討に関する事項	別紙【景観の保全のための措置の検討状況書】参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		
備考	連絡先 株式会社ボンズ 営業部 川口 (電話番号) 042-631-1011 (FAX番号) 042-631-1012 (電子メールアドレス) info@bonds-eco.jp	

注1 該当する□内に△印を記入すること。

- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
 - 3 「事業区域の面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
 - 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
 - 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
 - 6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。
- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

景観の保全のための措置の検討状況書

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	・ 施設は、地形の連続性が損なわれることのない様に現況の地形を優先して、付近の調和に努める様計画した。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	・ 付近の公共的眺望点から特に見える状況でないし、国道などの幹線道路からも見えない位置にある。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	・ 道路からは最低で1.5m以上離隔して施設を計画した。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	・ 大規模な連続した施設は設置しない様に計画する。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	・ パネル設置の高さは、現地が段々畑になっているので、この段差以内に計画する。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	・ 付近の公共的眺望点から特に見える状況でないし、国道などの幹線道路からも見えない位置にある。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	・ 架台は、アルミ製の架台を使用し、付近地と違和感の生じることのない様にモジュールの角度及び配列を一定として規則性を持たせる。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	・ パネルの設置は30°であるが、周辺に馴染める状況であると言える。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	・ 太陽光パネルの裏面は見えない様に計画した。

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池モジュール	材料・色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	・ 低反射のパネルを設置し、素材の結晶も見えないものを使用する。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	・ パネルは、黒色の物を使用する。
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	・ フレームは低反射の燻んだ銀色の物を使用する。 ・ 同系列の色彩の物を使用する様に計画する。
附帯施設・附属施設	(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	・ フェンスは、周囲と馴染ませる様に、くすんだ茶系統の物を使用する。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	・ 電柱は、敷地内に1本とする。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	・ 付属設備の色彩は、架台やフレームと同系列の色を採用する。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	・ 植栽を行う場合は、完全に根付く様に、土のついた苗を使用する。	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	・ 現地は、畑地帯であるので植栽は考えない。	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	・ 計画施設が、道路の通行に支障のきたす事の無いように低反射のパネルを使用する。	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	・ 施設は月に1回の割合で見回りを行い、草刈りなどの適切な維持管理を行う。	
	(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	松本建設事務所建築課に確認した。	

上記以外にも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

完成予想図



(参考様式) (第 19 条関係)

維持管理計画

作成日 令和 6 年 4 月 19 日

太陽光発電施設の設置場所	塩尻市大字旧塩尻字東山1456番	
事業者名 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先)	東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル4F-C 株式会社 ボンズ 代表取締役 渡辺 琢磨 担当 川口 TEL 042-631-1011	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社ボンズ 川口 竜輝
	電話番号	042-631-1011
合計出力	240 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日 (事業終了予定日)	令和27年3月31日	
損害保険の加入状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・ 太陽光発電施設の処分は、廃棄物処理業者依頼する。 ・ FIT法の廃棄費用積立制度により、積立を行う。	
維持管理計画及び状況の公表方法	・ 標識と一緒に現場に掲示する。	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

- ・ 強風による飛散
太陽光モジュールの架台の固定部に緩みのないこと、基礎などが劣化によって強度不足にならないように保守点検項目に従い、巡視を行う。
- ・ 豪雨によるすいがい
土砂崩れ等の兆候がないか、排水トレンチに問題はないか、保守点検項目に従って巡視を実施して確認する。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

- ・ 事故、災害等が発生した場合は、迅速に状況を把握し、地元区と協議を行いながら市や県に連絡し、二次災害が発生しないように防護措置を行う。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	5月
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			
			ボルト、ナットの緩みがない。			
	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。						
雨水、じんあい等の侵入がない。						
☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。				
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などが無い。			
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	5月
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	5月
	<input checked="" type="checkbox"/>	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	5月

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	<input type="checkbox"/>	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	<input type="checkbox"/>	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
		擁壁	湧水箇所の軟弱化がない。			
			亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
排水設備	<input checked="" type="checkbox"/>	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	<input type="checkbox"/>	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			

			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		
			草木の繁茂がない。		
	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			油等の浮遊がない。		
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		
			油等の浮遊がない。		
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年1回	5月
	<input checked="" type="checkbox"/>	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年1回	5月
	<input checked="" type="checkbox"/>	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年1回	5月
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	5月
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回	5月
			雨水等による洗掘がない。	年1回	5月
			草木の繁茂がない。	年1回	5月
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		
			段差、傾斜がない。		
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		
			隆起の発生がない。		
設置地盤	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年1回	5月
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年1回	5月
			雨水等による洗掘がない。	年1回	5月
			草木の繁茂がない。	年1回	5月

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

位置図



事業区域図

①

②



①



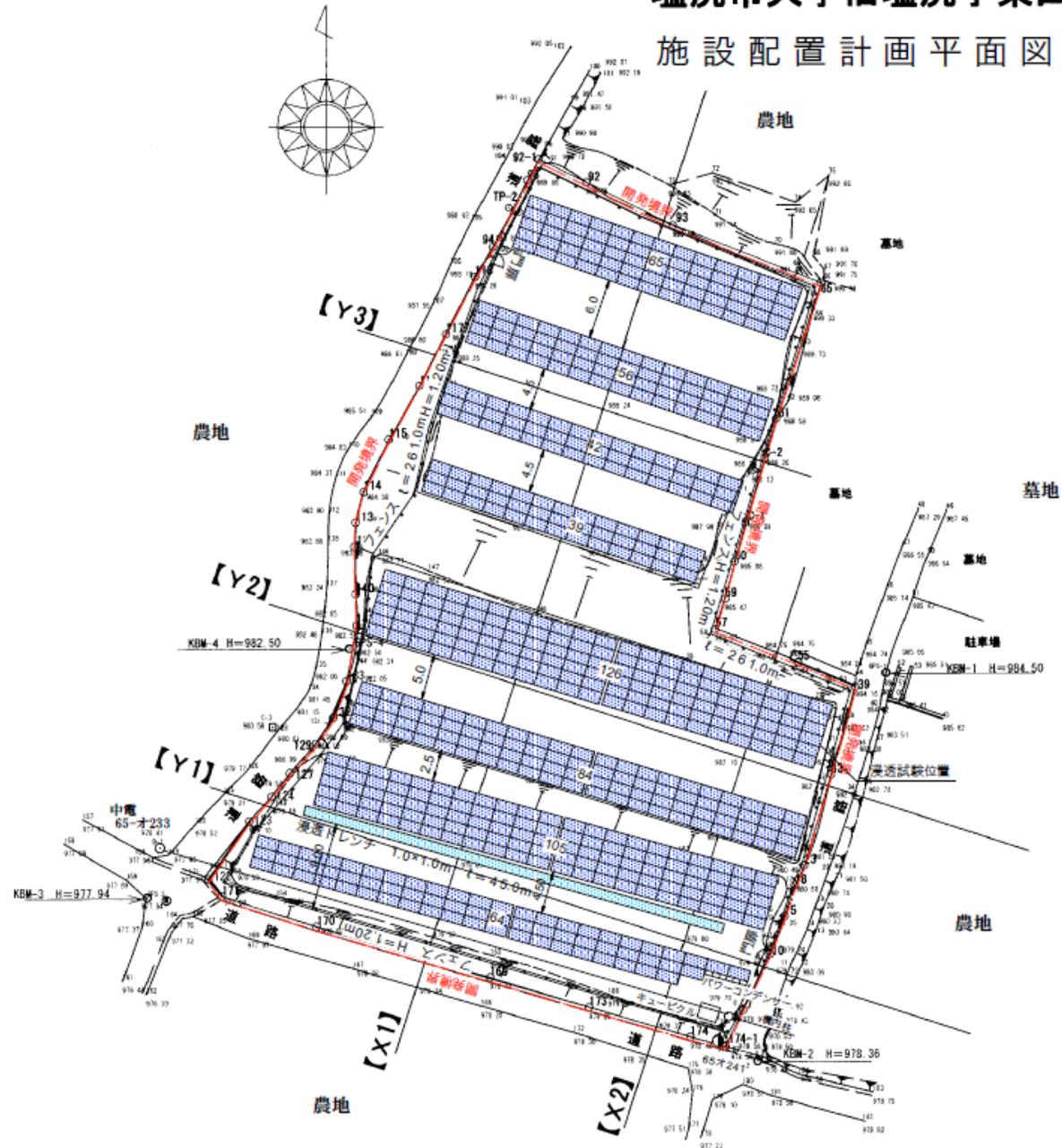
②



塩尻市大字旧塩尻字東山 1456

施設配置計画平面図

S=1:500



(パネル仕様)

メーカー名 Jinko Solar
 型式 JKM580N-72HL4-BDV
 最大出力 580W
 パネルサイズ 2.278×1.134×30mm
 設置角度 30°
 設置方位 18°

(PCS仕様)

メーカー名 HUAWEI
 型式 SUN2000-40KTL-JP
 定格出力 40.0kw
 相数及び線数 三相3線式
 定格効率 0.95以上
 最大変換効率 98.8%
 定格周波数 50HZ/60HZ
 効率一定制御 遅れ0.8~1.0まで
 設定可能 (0.001単位)

(総合仕様)

PCS総台数 6台
 PCS総容量 240.0kw
 パネル総枚数 581枚
 パネル総出力 336.980kw

総築造面積 $581枚 \times 2.278 \times 1.134 \times \cos 30^\circ = 1,299.79m^2$

最長長さ 21枚 $\times 2.278 = 47.838m$

名 称	東山太陽光発電所施設計画平面図		
縮 尺	1:500	図面番号	
		照 査	

(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2024年5月14日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	株式会社ボンズ 代表取締役 渡辺 琢磨	
事業太陽光発電施設の設置の場所	長野県塩尻市旧塩尻1456 (設備ID AM14233C20)	
説明会開催についての周知の方法とその範囲	区长への説明及び、県ホームページへの掲載による当該計画地を包括する地元自治区である東山区	
説明会の概要	日時	2024年5月10日
	場所	オンライン開催
	参加者数	0人
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	株式会社ボンズ 営業部 川口

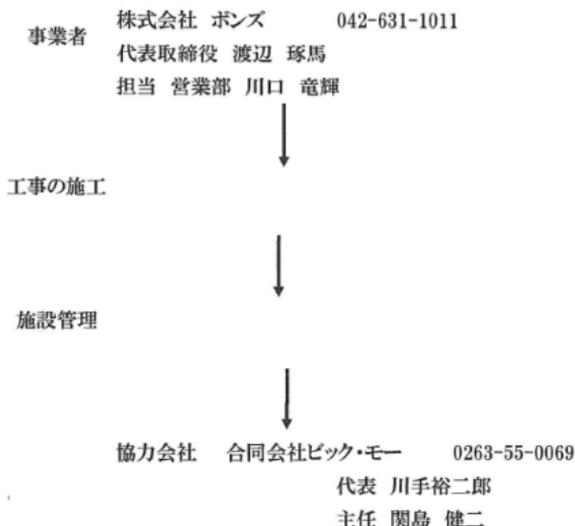
注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

施設の施工及び管理体制

1 事業の施工及び施設の管理体制



2 施設の管理方法

1. 施設は、松本市に常駐する合同会社ビック・モーの社員が定期的見回るが、年に2回は、株式会社ボンズの社員も施設の管理のために見回りを行う。
2. 当該施設は、植物の生育によるが年1～2回草刈りを実施する。又、除草剤は絶対に使用しない。
3. 台風などでの大雨などの異常気象の発生時には、㈱ボンズの社員が合同会社ビックモーの社員とともに施設を巡回し、安全を確認する。
4. 施設に異常が発生したり、事故が発生した場合は㈱ボンズの社員と合同会社ビック・モーの社員がともに復旧を行うとともに、付近地に問題がないか確認し、問題の発生した場合には、保証などを含めて早急に関係者と打ち合わせをして、対応を図る。

3 施設の撤去費用

施設の撤去費用は、20年後継続して使用する場合は、さらに変動すると想定されるが、現時点では、経済産業省の示す1Kw当1.0万円を想定している。